

第 2524 回例会

逗子ロータリークラブ Weekly Report

2013-2014 NO. 38 2014年4月17日

本日の進行 (18:30)

パマ・ギャルボ氏

(政治学者)

一次回のお知らせ

4月24日 (12:30)

土橋 正道 氏

(テレビプロデューサー)

会 長◆石田 隆

会長I/O◆藤吉一哉

副会長◆村松邦彦

◆橋 克巳

幹 事◆岡本 久

S A A◆福嶋謙之輔

会 計◆市川 浩

直前会長◆岩瀬浩人

会報委員長◆宝子山泰久

例会日: 第1・2・4 木曜日 12:30

第3 木曜日 18:30

第5 木曜日 18:00

例会場: 「カンティーナ」

逗子市新宿 1-3-35

TEL: 046-870-6440

事務所: 逗子市逗子 1-9-26

萬屋ビル 2F

TEL & FAX: 046-873-0226



E-mail: zushirc@sage.ocn.ne.jp

Website: <http://www.zushi-rc.com/>

「Let's realize Rotary !!」

— 2523 回 例会記録

2014年4月10日 —



石田会長の時間

ロータリーでは4月は、雑誌月間です。ロータリーの友、ガバナー月信その他ロータリー関連の書物を読んでロータリーをより一層理解して頂き、今後の活動につなげて頂きたいと思います。

4月4日、服部会員の奥さんが無事4200gの女の子を出産し、母子ともに健やかであるとの事。服部ご夫妻にとって初めてのお子さんです。子供の成長を楽しみながら子育てを頑張ってください。また先週の6日、福島会員が中心となって例年続けている花見親睦会が葉山・一葉にて開催されました。奥様方を含め23名が参加し楽しい花見の会になりました。桐田会員、福嶋会員、有難うございました。

今月1日より消費税が5%から8%になりました。市場では増税後の消費のさほどの落ち込みはないように思います。増税後は、物価が上昇についても、小売店では増税前と同額又は同額に近い価格で販売されています。また一般消費財は、石油価格の高騰や円安による原料値上げにもかかわらず、逆に値下げされて販売されている様にも思います。しかし夏頃からは原油価格の高騰、円安、人件費値上に伴い、製造原価が徐々に値上げされていくと思います。3%の増税ですが、現在の日本の製品流通形態ですと消費者へ届くまでにはかなり

の値上になるのではないかと推測します。来年以降も景気次第では消費税の増税が予定されていますが、デフレ脱却したばかりで景気回復の道半ばでの増税は、中小企業にとっては大変な問題です。ただヨーロッパの付加価値税に比べたらまだ日本は消費税率が低いと言われています。ハンガリーの27%、ルクセンブルグ15%、スウェーデン、デンマークは25%、22%と平均しても20%以上です。将来、日本も消費税20%などにならない事を願うのみです。

報 告

- 4/20 地区研修協議会 9:50 逗子市役所前集合
- 5/13~14 会員親睦旅行 出・欠席を電話で確認

4月 誕生・結婚記念日のお祝い

本人: 鈴木久弥、臼井浩、藤吉一哉、桐田吉彦

奥様: 橋美代子(武)、船津長恵(孝次郎)、橋由美子(克巳)、

菊池万里子(尚)、桐田照子(吉彦)、葉山 司(太一)、

岩佐美輪(直樹)、長野実生(賢太郎)

結婚: 市川浩・禮子、岩瀬浩人・尚美、篤 進・智恵子、

岩佐直樹・美輪、服部城太郎・スヴェトラナ(敬称略)

■ニコニコBOX 本日合計 ¥36,000 累計¥ 1,640,000

川上君…経済分析のエース吉川さんよろしくお祈いします。
 石田君、桐ヶ谷君、市川君、毛利君、山科君、藤吉君、田中君、今澤君…吉川様卓話よろしくお祈いします。
 岩佐君…久々の例会出席です。ご無沙汰しております。
 桐田君…体調不良で苦しんでいます。
 服部君…お陰様で4月4日、元気な女の子が生まれました。
 匂坂君…無事当選しました。ありがとうございました。
 長野君…2013年度が締め、やっと出席出来ました。
 福嶋君…楽しいお花見ができました。

山本(由)君…福嶋さん、お花見ありがとう!!
 草柳君…春爛漫、卓話よろしくお祈いします。
 山口君…良いお天気ですね。
 村松君…桜散って新緑へ、日本の四季は素晴らしい。
 安藤君…昨日は良い天気の下、GWの研修会を行うことが出来ました。
 松井君…今日は夏日です。だんだん暖かくなってきました。
 森澤君…ようやく海に出られる季節になりました。
 橋(武)君…値上げでも 煙草すすめる 妻不気味



エコノミストという仕事ですが、経済の状況を数字にするという事が主な内容になります。例えば GDP やインフレの数字等を予想し、その金融市場への影響等を考える訳です。

GDP 予想の見方ですが、これは国によって「景気が良い・悪い」の

判断となる基準の成長率が異なります。米国 2.0~2.1%、欧州 1.5%、日本は 1.0%、中国 7%強が概ねその分岐点です。これを前提に考えると、我々の 2014 暦年予想は米国 2.8%=強気、欧州 1.1%=弱気、日本 1.6%=強気、中国 7.2%=中庸なライン ということになります。為替も米国の回復とアベノミクス継続で円安を見込み、ドルは 2014 年末 108 円、2015 年末 112 円の予想です。

米国については、安定した賃金上昇の中での雇用改善に加えて、企業の投資活動が漸く正常化して増加する過程に入ったと見られ、比較的良好な循環になると予想しています。欧州は、アリ(=ドイツ、フィンランド等)とギリギリ(=ギリシャ、イタリア、スペイン等)の競争力、特に労働コスト(賃金)の乖離が大きく、ギリギリ等の周辺国側の低能率高賃金というコスト構造が是正=デフレ症状になると予想され、全体の成長率が低くなるという見通しです。そもそも、異なる経済状態の国が同一通貨を使用するのに無理が生じます。過去北欧等事例はありますが、長くは続きません。ユーロを維持するには、ギリギリを切り離すか、ドイツが財政投入してユーロ圏のギリギリを助けるという方法しか

ありません。しかしいずれの方法も今年中に決着することは無いでしょう。

中国は、特に不良債権問題の影響で社内・業界でも見方が分かれます。但し、エコノミストの見方は一般的に楽観的です。というのも、不良債権の絶対額並びに予想損失額に対する今後の成長余力のバランスから、バブル期後の日本の場合よりも余裕があるとの判断です。不良債権額は推定 200 兆円、損失見込みは 20%程度の 40 兆円と見込まれます。しかし、現在の成長率 7%に 2%程度のインフレを考えると、不動産価格も成長・物価連動と想定すれば、毎年 9%程度上昇することになります。これは、損失率が先ほどの倍だとしても、5 年程度で価格が元に戻り、損が埋まる計算になります。日本の場合は、成長率が低くなった段階でのバブルだったので、価格回復に相当時間がかかったということです。中国の場合は日本の 70 年台に相当し、経済に伴う価格回復力が残っているということです。又、中国は「民主主義」でないため、議論を待たずにトップダウンで対策が打てる状況で、迅速に対応出来ると見られます。

日本ですが、実質金利(名目金利-インフレ率)のマイナス圏入りで、過去の例と同様に設備投資が出てくると予想されます。失業率の低下も賃金を結果的に押し上げると見られ、輸出もある程度は伸びると見えています。輸出は戻らないとの見方もありますが、電機産業で輸出競争力がなくなったものの、機械、自動車は引き続きその力を維持していますので、それが、顕在化すると考えています。

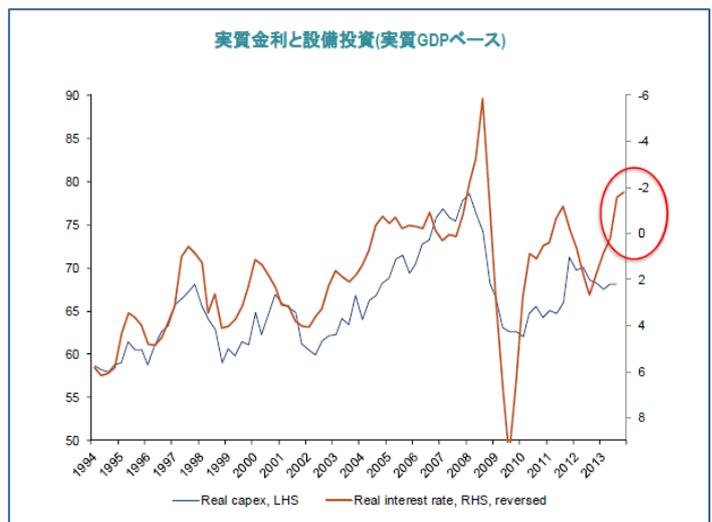
今後の日本ですが、必要に応じて日銀の緩和が行われ、法人税減税も避けて通れない政策となると予想しています。

世界経済の見通し

	実質 GDP 成長率(%)			
	2012	2013F	2014F	2015F
世界	3.0	2.9	3.4	3.7
北米				
米国	2.8	1.9	2.8	3.3
カナダ	1.7	2.0	2.1	2.3
メキシコ	3.7	1.1	4.0	4.0
欧州				
ユーロ圏	-0.6	-0.4	1.1	1.5
ドイツ	0.9	0.5	1.8	2.3
フランス	0.0	0.3	1.0	1.4
イタリア	-2.4	-1.8	0.1	0.8
英国	0.3	1.8	2.7	2.7
アジア太平洋				
日本	1.4	1.5	1.6	1.5
韓国	2.0	2.7	3.6	3.9
オーストラリア	3.7	2.4	2.6	2.1
ブラジル	1.0	2.3	1.6	2.0
ロシア	3.4	1.3	1.4	1.9
インド	3.2	4.6	5.4	6.5
中国	7.7	7.7	7.2	7.2

出所 BoFAMLグローバルリサーチ

日本の設備投資



担当：川上 敦